

1 単位時間指導事例

4 わたしたちのくらしとものをつくる仕事 (2) 伝統的な仕事

- 1 単元名 「土地のとく色を生かした伝とう工業」
- 2 単元の目標
 - ・昔から続いている県の特徴ある伝統工業の様子を調べ、県の特徴を考えるようにする。
 - ・県の学習に関係する資料を集めたり、地形図から読み取ったりしたことを白地図に表現するなどの具体的な活動や作業を通して、県の特徴ある伝統工業について考えるようにする。
- 3 本時の指導
 - (1) 題材名 「雄勝石を生かす」
 - (2) 本時の目標
 - ・雄勝石が様々な日用品として、あるいは建材として使われていることを理解する。

段階	主な学習活動	指導上の留意点 副読本の活用例	副読本 ページ
つかむ	1 雄勝石の特徴をとらえ、本時のねらいについて確認する。 (どのように活用されているか調べ、体験してみる。)	前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 石の硬さ、目の細かさ、加工のしやすさ、色の美しさなど石の特徴を確認する。	P 5 3 P 5 4
調べる ・ 考える	2 特徴を生かしてどんなものに使われているか資料をもとに調べる。 3 調べたことを発表し合い、雄勝石の特徴を生かした製品について確認する。 4 雄勝の石を使って実際にしたいことを決め、体験してみる。	何に使われているかだけでなく、なぜそれが使われているのか考えさせる。 「わたしたちの石巻」を使ってスレートやクラフトとして使われていること、なぜそのような使われ方をしているのか考える。 硯の学習で集めた資料も参考にさせる。 雄勝石を使った製品の実物にも触れさせたい。 雄勝石に字を書く、削って模様を描いてみる等簡単にできるようなことに絞って行わせる。 書く場合は白い絵の具やボスカが活用できる。ラッカーで仕上げるときれいである。削る場合は彫刻刀を使うが、石を固定しないと危険である。	P 5 5 P 5 6
まひとろめげる	5 学習のまとめをする。	雄勝石のよさ、それを生かした伝統的な仕事について確認する。 地域の産物を生かすために、現在もいろいろ工夫していること、職人技のすばらしさについて考えさせ、これからの姿を想像させる。	